

『謹賀新年』

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

町長に就任し、二度目の春を迎えますことに、改めて月日の経過の早さを実感いたしております。

昨年を振り返りますと、徐々にではありますが往年の活気を取り戻しつつあると感じています。町では、「第33回まつり新宮」を開催し、晴天の下、多くの来場者で賑わいを見せました。

『住民第一』をスローガンに、昨年は各種施策を展開してまいりました。

子育て支援につきましては、4月から子ども医療費の助成の拡充を行うとともに、10月からは保育料等の第二子以降無償化を開始し、高齢者支援につきましては、10月から高齢者移動支援を実施するなど、福祉事業のより一層の充実を図っています。教育分野では、漁村留学を継続して実施したほか、新たに子どもたちの国際感覚を育てるため中学生の海外派遣事業を実施し、参加した生徒からは多くの喜びの声をいただきました。人権行政分野では、あらゆる差別をなくし、人を思いやり快適に暮らせるまちづくりを進めるため、人権フェスティバルなどを開催し、人権に関する学びの場を提供しています。

※DXの推進につきましても、町公式LINEを開設し行政情報の発信と住民サービスの向上に努めるとともに、先端技術を活用した業務の効率化を図ってまいります。

また、下府地区及び三代地区において整備が進んでいる土地区画整理事業の促進や、さらには、立花口地区におけるスマートインターチェンジが国の準備段階調査着手箇所に決定するなど、町のさらなる発展が期待されます。

環境施策におきましては、『新宮町ゼロカーボンシティ宣言』の着実な実行に向け、コミュニティバスマリンクスにEVバス導入を決定しました。今後、さらなる地球温暖化対策推進に向けて、皆様の御協力をお願いいたします。

本年は、4月に新宮町合併70周年を迎え、節目の年となることから、町民の皆様の記憶に残るような事業ができないか検討しているところです。今後も新宮町に住み続けたいと思っただけのよう施策の充実を図るとともに安定した自主財源の確保にも引き続き努めてまいります。

不安定な国際情勢、今も続く円安や物価高騰など、厳しい状況ではありますが、未来の子どもたちに素晴らしい新宮町を継承できるよう取り組んでまいりますので、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

本年が、皆様にとりまして笑顔溢れる幸多き一年となりますよう心から祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

令和七年一月

新宮町長 桐島 光昭



※ DX…行政手続きのオンライン化などテクノロジーを活用し利用者中心の行政サービスを実現する取組。
※スマートインターチェンジ…高速道路の本線やサービスエリアなどから乗り降りできるように設置されるETC専用の簡易構造のインターチェンジ。